

“事前の備え” 想定外にも対応せよ！

地球温暖化の進行にともない、前例のない巨大台風や集中豪雨による水害の発生リスクは年々高まっています。いつ起こるかもしれないものに備えて、防災に対する意識を持つこと、日頃から水害に対する準備・対策をしておくことが強く求められます。あなたの備えは万全ですか？

洪水から守ろう みんなの地域



令和2年5月1日(金)～5月31日(日)

北海道は、令和2年6月1日(月)～6月30日(火)

主催：国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市町村等)

後援：警察庁、防衛省、総務省消防庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、NHK、一般社団法人 日本新聞協会、一般社団法人 日本民間放送連盟、日本赤十字社
協賛：全国水防管理団体連合会、公益社団法人 日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、一般社団法人 建設広報協会、一般社団法人 全国海岸協会、公益社団法人 全国防災協会、一般財団法人 河川情報センター、全国建設弘済協議会

▶ 事前の備え

ハザードマップ ポータブルサイト
で「必要な情報」を知る

<https://disaportal.gsi.go.jp/>

〇〇市 ハザードマップ 検索



▶ 台風や大雨が近づいたら

川の防災情報
で「洪水の危険性」を知る

<https://www.river.go.jp/>



みんなの地域をみんなで守る！

水防団員募集中

人の役に立ちたいという思いや、何かやってみたいという思いが少しでもあれば、まずは気軽に住んでいる市町村に問い合わせをしてみてください。その行動が地域の人たちの助けになるかもしれません。

水防(消防)団への入団は、居住する市町村等へお問い合わせください。

岐阜市藍川水防団 小金井団員▶





水防団とは

水防団は、水害から自らの地域を自ら守る組織です。

水防団は、地域の方による防災組織で、河川の氾濫や洪水等による堤防の決壊を防ぐための水防工法や地域住民の避難誘導など、人命の安全確保と被害の軽減等を目的に活動しています。(水防団を設置していない市町村では、消防団が担っています)



水防(消防)団員は年々減少しており、皆様のご協力が必要です。

現在、全国で約85万人の団員が各地で水防活動に従事していますが、その数は年々減少しており、地域の水防力の確保が難しくなっています。大きな水害が毎年のように発生している今、地域を守るため地域の皆様のチカラが必要です!



水防団の活動状況

令和元年度は、相次ぐ台風の上陸や接近などにより、日本各地で大きな水害が発生しました。洪水時、越水や漏水などによる堤防の決壊を防ぐための水防工法や、住民の避難誘導などの水防活動を各地の水防団が実施しています。

主な水防活動



長野県長野市消防団 ゴムボートによる救出活動を実施(令和元年10月12日~15日:長野市内)



東京都日野市消防団 土のう積み工を実施(令和元年10月12日~13日:浅川右岸)



茨城県常陸太田市消防団 住民の安否確認・人命救助を実施(令和元年10月12日~14日:常陸太田市内)



茨城県大洗町消防団 排水活動を実施(令和元年10月12日~13日:大洗町内)

